

ご挨拶

第 42 回日本二分脊椎研究会

会長 奈良 啓悟 (大阪母子医療センター小児外科)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、第 42 回日本二分脊椎研究会を主催する運びとなりました。本研究会は、脳神経外科、泌尿器科、整形外科、リハビリテーション科、小児外科をはじめ、看護や教育など多分野の専門家が集う場です。今回のテーマは「成長と共に寄り添うライフステージ医療」とし、生涯にわたる医療支援が求められる二分脊椎症に焦点を当てます。

二分脊椎症は出生後早期から治療が必要となることが多く、胎児期から診断が可能な疾患です。現在、世界各国で胎児治療が進展しており、本邦でも導入が進んでいます。今回は、本分野の第一人者である大阪大学母性胎児科学研究所の遠藤誠之教授をお招きし、最新の胎児診断と胎児手術に関するご講演を予定しています。

さらに、各診療科が合同で討議する場として、以下の 2 つの要望演題を企画いたしました。

1 つ目のテーマは「世代別の二分脊椎症に対する治療」です。胎児期から幼少期、児童期、思春期、成人期に至るまで、成長段階ごとの治療方針や成果についてご討議いただきます。2 つ目のテーマは「二分脊椎外来（各施設の取り組み）」です。二分脊椎症患者さんは複数の診療科を受診する必要があり、医療アクセスの負担が大きい現状があります。同日に複数科を受診できる外来の開設は患者さんへの負担軽減となりますが、その実現には多くの課題があります。本研究会では、すでに外来を開設している施設や、準備を進める施設からの発表を通じて、課題の共有と診療体制の改善に向けた議論を深めたいと考えています。

また、二分脊椎症に関する一般演題も幅広く募集いたします。

さらに、二分脊椎症患者のご家族を支援する「二分脊椎協会」との共同企画として、患者さまから直接お話を伺う機会も設ける予定です。

開催時期には大阪万博も開催されます。ぜひ本研究会にご参加いただくとともに、大阪の魅力も存分にお楽しみいただければ幸いです。

最後に、本研究会の成功に向け、皆様のご支援とご参加を心よりお願い申し上げます。